

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【1. 施策名】

施策コード	122-02	基本施策	高齢者の社会参加の促進	所管部局	保健福祉部
施策名	生きがいつくりの推進			主担当課	高齢者福祉課
				関係部局課	
施策の目標	健康づくり・生きがいつくりのための拠点や機会の充実により、高齢者がいきいきと生活できる環境を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

高齢者の閉じこもりを防止し、健康で生きがいのある生活を保つため、仲間づくりや高齢者の学習活動の支援等を目的とした生きがいつくり事業の充実を図る。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
老人福祉センターの生きがい講座受講者数	人	43,409	36,945	37,983	/	/	/	43,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
生きがいつくりや健康づくりを支援する老人福祉センターの生きがい講座受講者数	老人福祉センター生きがいつくり講座は平成24年度の有料化により受講者数が減少となったことから、講座内容の充実を図り、平成22年度実績の水準まで受講者の増加を目指す。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H24)	実績					目標値 (H28)
ふれあい交流ひろばの講座受講者数	人	2,144	2,144	2,897	/	/	/	3,500
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
ふれあい交流ひろばの講座受講者数	生きがいつくり講座を平成24年度有料化し、講座受講者数が減少となったことから、講座内容の充実を図り、平成23年度実績の水準まで受講者の増加を目指す。							
25年度の取組内容実績	高齢者生きがいつくり講座は平成24年度の講座受講料の有料化により受講者数が減少したが、平成25年度は利用者ニーズに応じた新たな講座の企画・開催により受講者が増加している。また、老人福祉センターは地域福祉の拠点として多様な事業を実施し、地域との交流や世代間交流を推進することで利用の増進を図っている。							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
評価の理由・説明等	
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	高齢者人口の増加に伴い、利用者のニーズに応じた多様な講座の充実を図る必要がある。健康づくり、介護予防や認知症予防などを主眼とした講座の充実と高齢者の生きがいつくりや地域活動のきっかけづくりにつながるような新たな講座の開設に努めている。また、地域福祉活動の拠点として役割を果たすよう事業を実施している。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	市民負担の公平性を確保するなどの観点から、平成24年度に受講料の見直しを実施した。その結果、利用者数が減少したが、講座内容の見直しを図り、より一層魅力のある講座を行い、受講者の増加を目指す。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	利用者ニーズの把握に努め、講座運営の見直し等を実施した結果、受講者数は平成25年度には回復傾向にあり、特に、シニアアクティブルームの利用者は有料化以前を上回った。

